

IEEE 802.11bn (Wi-Fi 8) 無線LAN RF性能試験に対応

ワイヤレスコネクティビティテストセット MT8862A

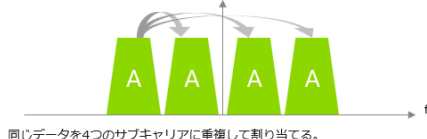
IEEE 802.11bn (Wi-Fi 8) の概要

IEEE 802.11bn (Wi-Fi 8) は、IEEE 802.11be (Wi-Fi 7) の後継規格として、超高信頼性 Ultra High Reliability (UHR) の実現を目標として標準化提案され、Enhanced Long Range (ELR)、Distributed-tone Resource Unit (DRU)、Unequal Modulation (UEQM)、Multi-AP Coordination等の技術が採用されています。フィジカルAIをはじめとするAI搭載機器など、通信の信頼性が重視される機器への採用が期待されています。

●サブキャリアへの一般的なデータ割り当て(イメージ)



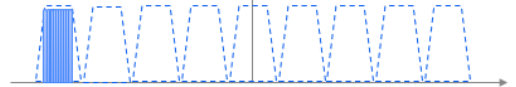
●サブキャリアへのELRのデータ割り当て(イメージ)



IEEE 802.11bn ELRのデータ割り当て

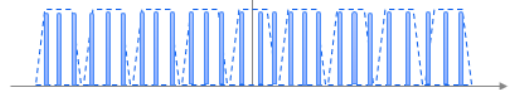
SRUでは1つのRUにサブキャリアを集中配置

例：1RUに26本配置

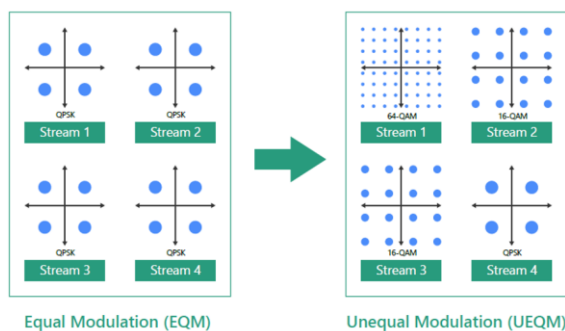


DRUでは帯域全体にサブキャリアを分散配置

例：26本のサブキャリアを帯域全体に配置



IEEE 802.11bn サブキャリアの配置

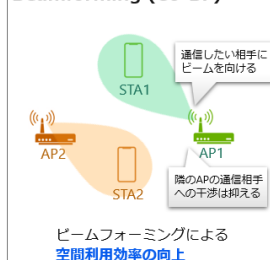


Equal Modulation (EQM)

Unequal Modulation (UEQM)

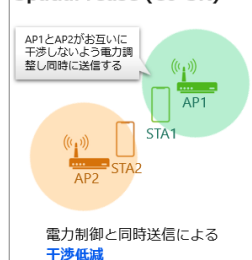
IEEE 802.11bn UEQM

Coordinated Beamforming (Co-BF)



ビームフォーミングによる
空間利用効率の向上

Coordinated Spatial reuse (Co-SR)



電力制御と同時送信による
干渉低減

IEEE 802.11bn Multi-AP Coordination

ネットワークモードでIEEE 802.11bn (Wi-Fi 8) に準拠した無線LAN性能試験に対応



ワイヤレスコネクティビティテストセット
MT8862A

MT8862Aは2026年10月にIEEE 802.11bn (Wi-Fi 8) に対応しました。IEEE802.11axから11beや11bnへ移行する際に重要となる320 MHz BWチャネルのRF性能や、4096QAM適用時の性能を評価することができます。さらに、IEEE 802.11bnの新機能についても評価が可能です。また、さまざまな測定手法に対応しているため、あらゆる無線LAN製品の信号品質や受信感度を柔軟に評価することができます。そのため法的規制の試験から品質確認の応用的な試験まで幅広くご使用いただけます。

- ✓ 周波数帯 2.4/5/6 GHz-band (up to 7.125 GHz)
- ✓ チャンネル帯域幅 20/40/80/160/320 MHz
- ✓ 測定モード Network mode / Direct mode
- ✓ 対象DUT AP/STA

IEEE 802.11bn 対応評価項目一覧

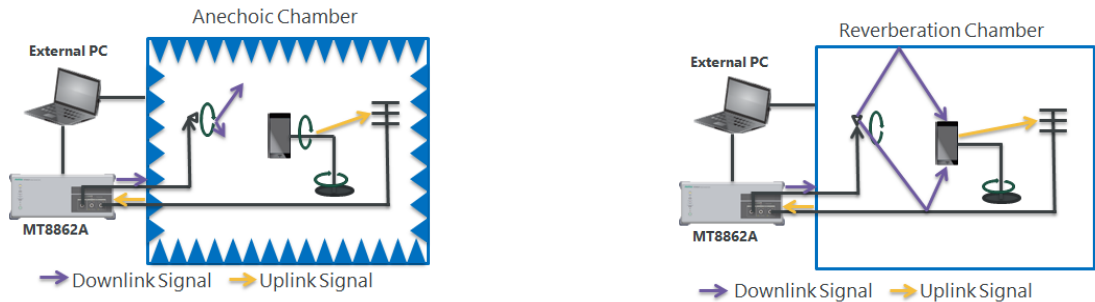
IEEE 802.11bnで示されている下記項目の評価が可能です。

IEEE					MT8862A Support
Category	Chapter	Title	DUT	PPDU	
Transmit specification	38.3.26.1	Transmit spectral mask	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.26.2	Spectral flatness	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.26.3	Transmit center frequency and symbol clock frequency tolerance	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.26.4.2	Transmit center frequency leakage	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.26.4.3	Transmitter constellation error	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.26.4.4	Transmitter modulation accuracy (EVM) test	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
Receiver specification	38.3.27.2	Receiver minimum input sensitivity	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓
	38.3.27.3	Adjacent channel rejection	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.27.4	Nonadjacent channel rejection	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓*
	38.3.27.5	Receiver maximum input level	AP/STA	UHRMU, UHRELRL	✓

* 他の測定器が必要な場合があります。詳細につきましては別途カタログをご参照ください。 (Draft P802.11bn_D2.0)

IEEE 802.11bnでOTA試験が可能に

MT8862Aは、他のWLANテストより広いダイナミックレンジ性能を持っています。OTA試験においてダイナミックレンジは、11bnで採用されている4096QAMなど高変調方式の場合に、接続を保持・安定させるための重要な性能となります。またネットワークモードに対応しているため、実環境に近い状態でアンテナ性能を評価することができます。



MT8862A IEEE 802.11bn ソリューション

MT8862AはIEEE802.11a/b/g/n/ac/ax/be/bn、2.4/5/6 GHz、320 MHz BW、4096QAMに1台で対応しています。オプション構成については担当営業にご相談ください。

Model Number	Model Name	Note
MT8862A-011	拡張帯域幅ハードウェア	ハードウェアオプション
MX886200A-004	WLAN 802.11bnオプション	ソフトウェアオプション
MX886200A-031	320MHz帯域幅	ソフトウェアオプション。MT8862A-011オプション必須